

#1711

1985

夏山合宿

報告書

♪ 大見さん (松. 剣)
♪ 三さん.
♪ 今年の秋 E3.
♪ 秋の後は
♪ 冬
♪ 今年 E2

信州大学山岳会

目次

MEMBER △角谷 S.△森 藤田 下田 川端 三野
小野 瀬川 飛田 豊田 中村(廣) 松田(廣)

- 期間 8/24 ~ 9/2
- 8/24 松本 +++++ 扇沢 — 内蔵助平
- 8/25 T.S — 長次郎谷 — 熊ヶ岩(B.C)
- 8/26 八ヶ峰 下峰 登 17W 雪上訓練
- 8/27 源治郎尾根 縦走
- 8/28 八ヶ峰 下峰 ~ 子ネ 登 17W
- 8/29 剣岳 本峰 南壁 北壁 登 17W
- 8/30 C"U"ノ山 行
- 8/31 三野 救助
- 9/1 下山

8月24日(土)① → ②

A party L森. 藤田. 三野. 瀬川. 豊田. 安田.

松本	5:05	> 773-
扇沢	6:15	> トリ-バス
黒部湖	8:10	
黒部川	8:55	
内蔵助谷出合上	9:55	
谷の乗入り	12:15	
内蔵助平	13:10	

天気はよかったが暑さかきびしく途中で少々
ぼてぼて汗に変わった。(安田)

B party L角谷. "

松本	5:05	> 773-
扇沢	6:15	> トリ-バス
黒部湖	8:10	
黒部川河原	9:00	
内蔵助谷	10:15	
	11:15	
	12:45	
内蔵助平	13:45	

E111W暑く汗が多くてEのEで水かうからE。
内蔵助谷上部はつかぬ。(小野)

8月25日(日) ○ → ◎

全体行動

T.S	5:00
1130"谷乗越下	7:05
真砂沢小屋	10:00
長次郎谷出合	11:45
熊ノ岩	14:55
	15:45 (不田着)

OBの渡辺IWと倉島IW入山

重ノキスリに7"で雪渓を登るのは大変だ。 (= 瀬)
 最後までキスリに7"で行けた。 (松田)

8月26日(月) ①

A party 船谷, 安田 T峰 C face 剣稜会ルート

BC	6:50
取付	7:20
終了	9:05

6 pitch

BC 11:25 C face の 頭 = 2 B. C party と合流

★ 可成り LII 登り W を楽しんで (安田)

B party 森, 松田 T峰 C face RCC. ルート

BC	6:55
取付	7:20
終了	10:10

6 pitch

BC 11:25

★ 花崗岩は登りやすか。 E (松田)

C party 田. 頼川 頂峰C face 久留米大ルート

BC 6:55

取付 7:30) 5 pick

終了 10:25

BC 11:25

D party 藤田. 小野 頂峰B face 京大ルート

BC 6:45

取付 7:10) 4 pick

終了 9:10

BC 10:40

快適なクライミング"ZLE."
(オ)

E party 三野, 飛田 頂峰A face 魚津高ルート

BC 6:50

取付 7:20) 3 pick

終了 9:25) A face の下41 = 770m 11V = 30m

BC 10:40

フイグイ登る = エが出た
(トセマ)

F party 川端. 豊田 頂峰A face 中大ルート

BC 11:00

取付 7:40) 3 pick

終了 9:50

BC 10:40

THE. 雪言川 全体行動 渡辺OB. 倉島

BC 12:00

長次郎谷上部 12:15

雪渓 = 2 キックステップ. コックルステップ. グリテート

終了 15:00

BC 15:15

雪の堅いと = 3か所々あり 凸凹して112

多少ヤリト (カ, E, (トセマ))

8月27日(火) ① → ②

全体行動

BC 6=10

源治郎尾根取付 7=40

I, II峰間ユル 12=00

全 party 4分のみ

本峰に2合流 15=35

BC 16=40

A party 角谷, 小野 源治郎II峰 B face 下ユル

取付 12=30

終了 13=40

本峰 14=55

) 2 pitch

B party 森, 瀬川 本峰北壁 L 2 ユル

取付 13=45

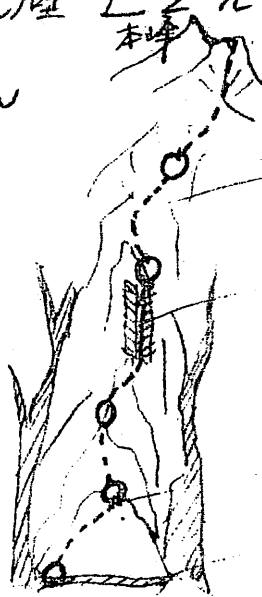
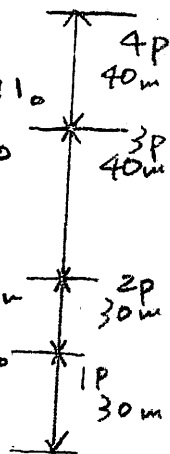
終了 15=30

本峰 15=55

) 4 pitch

(3P からは岩がモロい。
下は上部はボロボロ。
ピッチも少なく11-5も
手かたない。ナッツも多用

(1, 2 pitch はホールドが
大きく, 岩もナツナリL2113。



11ナツ

ボロボロ

ナツ =

T2

T1

長次郎左又層溪

C party 下田, 松田

取付

終了 13=20

D party 三野, 豊田 源治郎II峰 A, B face

取付 12=40

終了 13=50

本峰 14=55

E party 川端 飛田 剣本峰北壁 Aバットレス 左ルート
 取付 14=20) 3pitch
 終 } 16=00)
 本峰 16=10

ル+上は 浮石が多し 下岩が脆く 下下。E。
 Eには あまりなく E/E/E とするのは 苦労した。(飛田)

F party 藤田, 安田, 剣沢小屋 利 中村(貴)

BC 6=10
 平蔵谷 出合 7=20) 剣沢谷 口 2雪訓
 7=50)
 新剣沢小屋 10=20) 中村(貴) と会う。
 BC 11=30)
 14=30)

今日は マカボテの あかガエ"バツ"が 可なり (伊田)

8月28日(水) ①

A party 角谷, 豊田 下峰 D face 入留木 ルート
 下ニネ 左下 カニテ 左下 カニテ

BC 6=00
 取付 6=30) 6pitch
 終 } 8=50)
 取付 10=45) 6pitch 中央バットレス 浮石が多し。
 中央バットレス 12=50)
 終 } 15=35) 5pitch

B party 森, 小野 飛田 下峰 A face 中大 ルート

下ニネ 魚津高, aバット, bブロック
 BC 6=00
 取付 6=20) 3pitch
 終 } 9=00)
 取付 12=35) 4+2 pitch
 終 } 16=00)
 BC 18=10

C party 下田 安田 戸峰 C face RCC ルート
 于=ネ 右方ル=セ, 中央バト, 左稜線
 B.C 6:00
 取付 6:20) 6 pick P faceの頭で A.B faceの
 終) 8:55) 隊と合流
 取付 12:20)
 終) 16:30)
 BC 18:00

右方ル=セ"はわかりにCC=CC"アなルートで"あ
 (安田)

D party 三野, 瀬川 戸峰 B face 京大ルート
 于=ネ 北条 新村 ルート
 BC 6:00
 取付 6:40) 3 pick 2 pick目で浮石が自立, た。
 終) 8:05) リンゴは快落。
 取付 11:00) 文部省 party が先行で
 終) 16:30) 2時間 トラストで待つ。
 BC 18:00

E party 川端 中村 戸峰 C face 剣校会
 于=ネ 左方ル=セ" 五稜線上部
 BC 6:00
 取付 6:35) 6 pick
 終) 8:40)
 取付 11:05) 8 pick
 終) 15:25)
 BC

5 pick目と核心はA0でいい, た。7/11- 也可 (中村)

F party 藤田 松田 戸峰 A face 魚津高ルート
 于=ネ 中央于=ニ - 于+ニ - C-d 7/11
 BC 6:00
 取付 6:25) 3 pick
 終) 8:55)
 取付 12:30) 6 pick
 終) 15:50)
 BC
 ホルト"が"から存け"は
 Eからわかる"は A0でいい, た。
 松田"ルート" 80 (松田)

戸峰登り後 D faceの頭で合流。3 party 于=ネ A 向かう

8月29日(木) ○ → ⊙

A party 角谷, 松田 剣本峰北壁 L2 ルート

BC 6:35
 取付 7:40
 剣peak 10:45) 3pitch ルート因り P
 BC 14:10

取付寺の雪渓が緩かった。松田が「L-1」の (松田)

B party 森, 安田 剣本峰南壁 A2 稜 ルート

BC 6:30
 取付 8:40
 剣peak 11:25) 5pitch
 BC 14:30

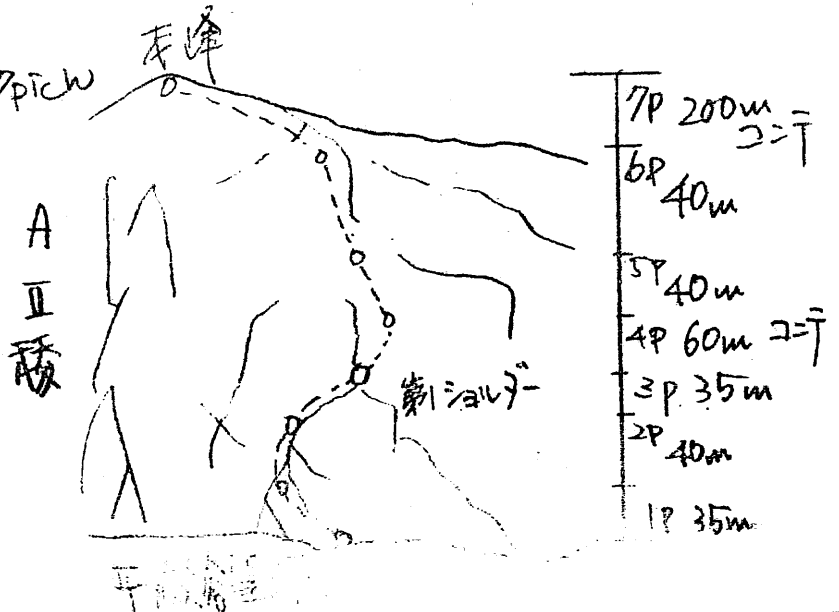
A2 稜は簡単なルートで
 3~4pitch で登山者。



平蔵谷雪渓

C party 下田, 飛田 剣本峰南壁 A1' ルート

BC 6:30
 取付 8:45) 7pitch
 終 11:20



1 Pitch クラックを直上し左にずらして右にクラック
谷間に登る。

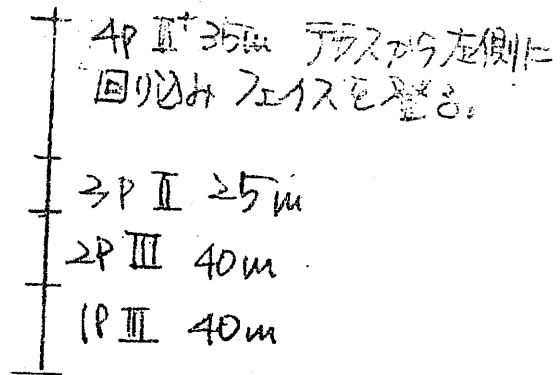
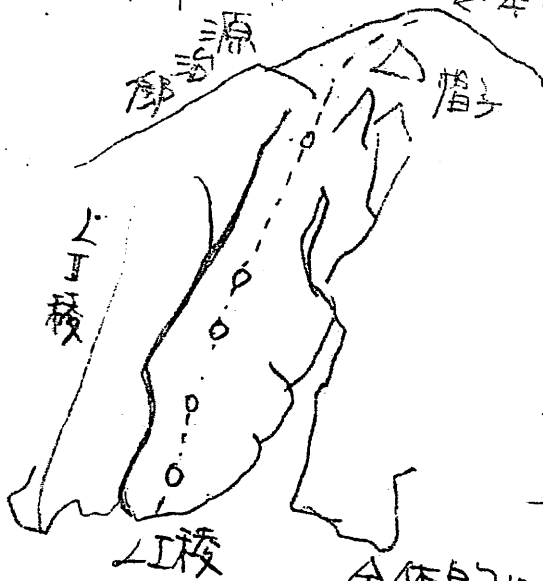
2 pitch かなり気味の凹角程度

3 pitch ホ"ロホ"ロの face を 右に。

それ以降は リッジ 通しに 進む。最後の 2P は
ノーザール 又は コニテで 十分 (飛田)

D party 三野 中村 剣本峰北壁 LI 校ル+

取付 7:30
終る 8:25
本峰 9:45) 4 pitch
← 本峰

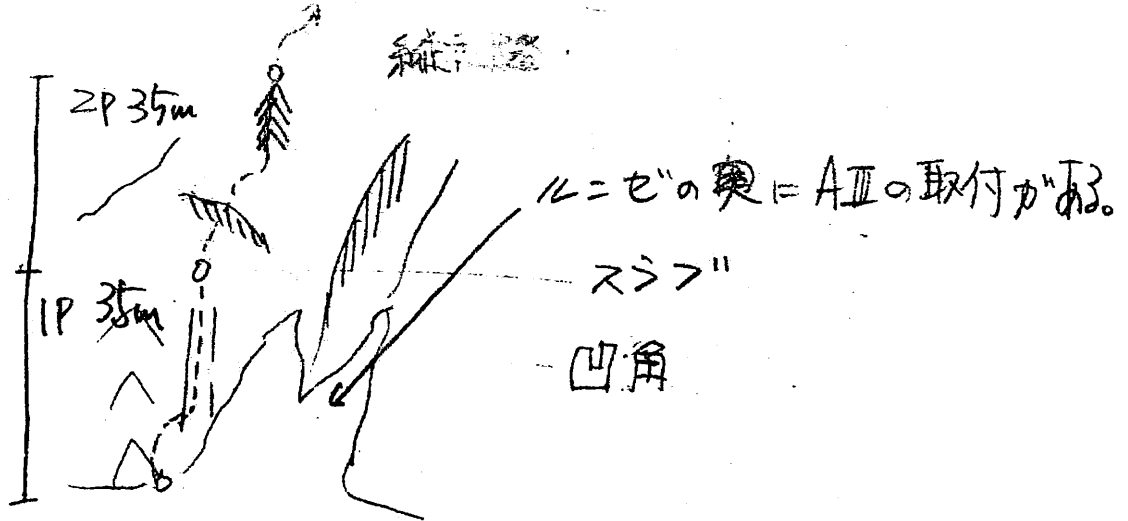


全体的に 易しいルート (中村)

E party 川端 三瀬川 剣本峰南壁 A4 ル+

BC 6:30
取付 8:40
終る 9:40) 2 pitch
本峰 10:05

古川-下は所々にある。岩は 木口木口 (三瀬川)



F party 藤田.小野.豊田 剣本峰北壁左ルート

取付	7=25) 4 pitch
終了	9=25	
本峰	10=30	

2pitch目のハ=7"ま"かのセ=3は
面白か>E (マニ=豊田)

8月30日(金)の日の七尾山行

A party 森.川端 剣尾根縦走

BC	6=50
R5取付	8=50
終了	10=40
トウ	12=00
三ノ滝	14=00

ハイルは R5の取付 と 門ヅ 使用
1pitch 1pitch

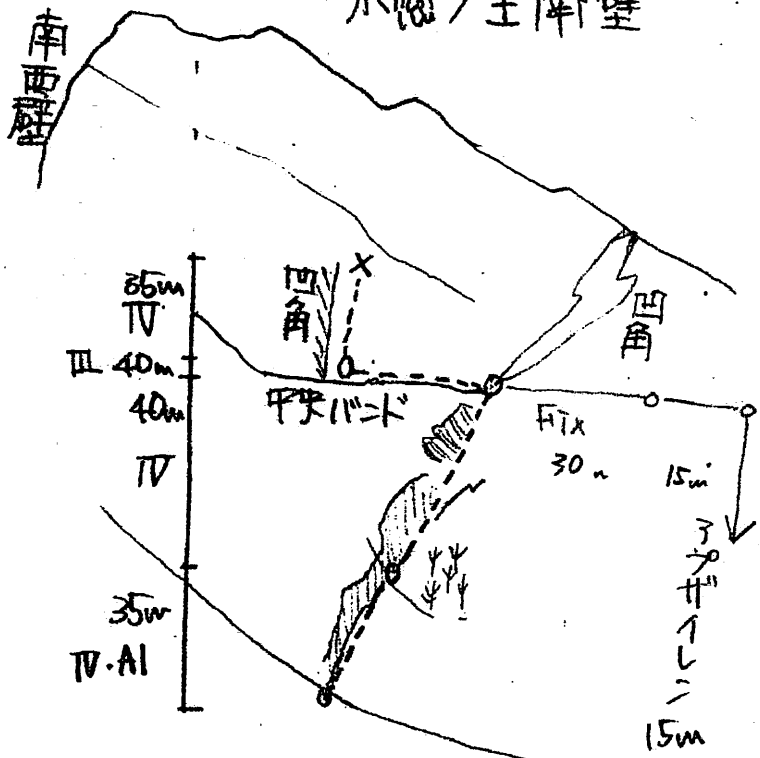
剣尾根縦走は上部で
左手に難いセ=3かある程度
ルートは通り

B party 下田, 三野 IV峰 Dface 富山下ル十
 小窓, 王南壁 京都山岳会ル十

BC 6:50
 取付 7:20
 終 } 9:20 16 pitch
 取付 11:00

- 14:00頃 三野事故
- ・79L-ジックで登り返し アアゲイルニで
- ・中央バードへ下降 16:00
- ・三ノ窓からの Aparty と中央バードで合流 16:00
- ・Fix 2pitch (30m・15m) アアゲイルニ (15m) で三ノ窓へ到着 18:00
- ・確保者 4名 (Aparty 2人, Cparty 1人)

小窓 / 王南壁



1pitch目の濡りEにーがうやぶらF (三野)
 事故に211213 事故報告を参照

C party 藤田 小野 瀬川 飛田 豊田 中村 松田 安田

B,C - 池の平 - 三ノ倉 縦走

BC 7:00

小倉雪溪山 11:15 雪の状況悪く池の平回りにする

池の平小屋 12:25

三ノ倉 16:00

本日の松田 フォーランド 10

A,B,C party から 三ノ倉で合流してバーブする。

8 (土) ① → ● 三野救助
Apr 安田 剣沢 no 先発隊

6:30 ○ 救助方法の相談のため。
7:15 ○ 現役留守 no 連絡
9:50
13:30
16:30

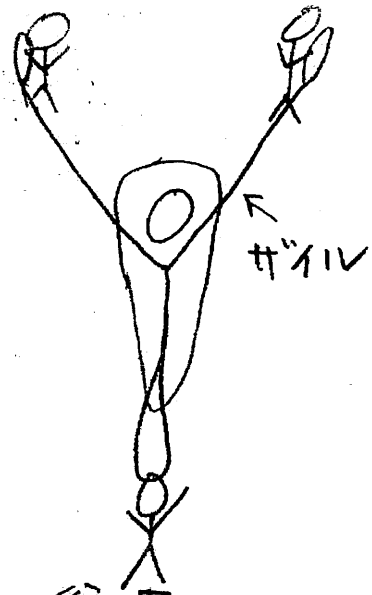
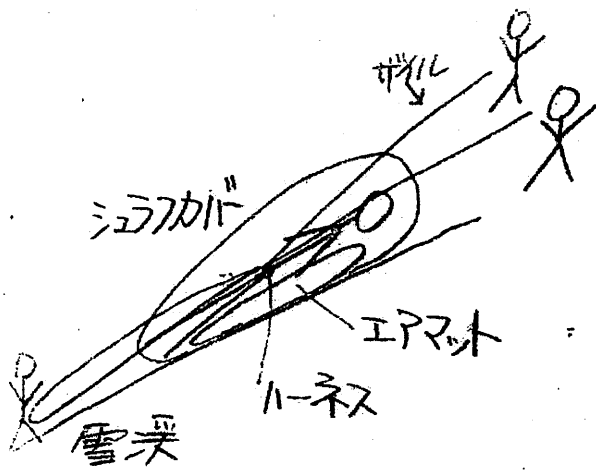
B party 角谷, 藤田, 川端, 瀬川, 三野 三野隊

熊の岩 6:55 ○ 三野を出来るだけ
9:05 釜上までおろす。
剣沢始 11:40

C party 森, 豊田, 飛田, 小野, 中村, 松田

三ノ院 7:00 ○ 1年生を BC におろし
熊の岩 8:15 森を登り返し B party へ
合流

○ B party が三野を交代で背負、乙池の谷乗越を登り
熊の岩 B, C まで降りた。長次郎雪渓では B, C まで一端
降りて登り返し来て森の上げアイゼンを使え。
B, C で食料, 設営具等を5人×2日分用意した。
B party の瀬川が豊田と変更し C party の森と飛田を
サポート隊となす。熊の岩からは藤田角谷森が
アイゼンをはき三野を交代で背負、乙池川端, 飛田
豊田が歩荷隊として B party の必要なものをおろした。
長次郎雪渓途中の岩場では、三野は他の3人の助けを
借りながらも自力でクライムダウンした。
岩場以下の雪渓では三野をシュラフカバーとヘルメットを
つけ前1人後2人がザイルで確保して降りた。



船は三野と川で富山へ行く。

9月1日(日) ①

藤田、川、森、川端、小野、瀬川、飛田、豊田、中村
松田、安田

BC.	6:55
13:30 谷乗越	12:10
夕川	16:20
扇沢	17:
松本	夕7:1-

最後 pickup 藤田、松田 別 party

各係の反省

ESSEN

575冊/日人

- 野菜の量が「多過ぎ」で重量化につながらず。
- 米は4人当り 食器 1/4 ~ 1/2 が適当
- 味付けは素 1.5 ~ 1.8 碗/人 + 調味料が適当
- 肉はよく炒めEをE層に埋め出し「合宿の後半も使用可能
- マカボ行 論争の終止符を打とう。(川端)

賛成派

反対派

装備

- 育英亭のホルカが1部異なりEで使用中に扱った。
- フスは準備日前に真換しておくべきである。
- 装備袋の中は各々ビニールに分けて入れ子にしてある。
- 怪我人が出た時のため、背負子を持て行、Eがよい。
- ホルカの巻が足りなかった。(三野)

気象

- 夏でも高層気象の必要性を感じた。
- 全員もと練習の必要がある。(森)

会計

収入	
合宿費	127,000
OB	10,000
刀=110	9,000
後日徴収	27,380
	<hr/>
	173,380

支出	
食費	74,800
装備費	19,070
交通費	77,790
電話代	1,720
	<hr/>
	4173,380

角分 三野
¥23,880

(費対基金引)

個人の反省

- 小野) 体力面ではまだ「まだ」なので「トレーニング」を
重ね、冬山には負けるようにしようと思う。
岩登りも、もと上達した!!と思う。
- 瀬川) 岩登りは楽しく出来たので良かった。
最終日ではバテたので体力をしっかりとつけた!!。
- 飛田) 本番の岩登りで普段の岩トシでは学ばない重要な
事を学んだ。事前の地域研究不足が多かった。
生活技術では怠りがあった。合宿後半で
バテたので体力不足が感じられた。
- 豊田) 地域研究をあまりしなかった。時計を忘れたため
記録をとれなかった。冬山の対策は、もと
体力をつけなければならなかった。
- 中村) 山行前に体調を崩し入山が遅れた。
そのせいでバタバタ動かし、気がたじた。
皆と足並がそろわぬものか無理に合宿に参
加すがまじでなかったと思う。
- 松田) 自分に対して甘いのでバテてしまわないように
~~注意~~をかけた。トレーニングをしてキツクを埋めた!!。
生活技術では不手際が多かった。
- 安田) 重石を多く起した。ESSENTIALは時間がかかりすぎ
朝の行動が苦しかった。全体のペースに
ついていけなかった。精一杯で、体的に余裕が
なかった。

川端) 少しでも危険を感じたら極力慎重に対処するべき
であった。1年に対する配慮が欠けた
所があった。もと頻繁に指示、注意する
べきであった。

三野) 今回、何がしてか、存に迷惑をかけたし、
おぼえていた。慎重に欠け、注意不足
であった。今回のことチームワークの
大切さがよくわかりました。これから
部員同士の意見交換をして、互いに
理解を深めたいと思う。

角谷) 上級生が事故を起こして、1年生に十分な指導
が出来なかった。全体的に1年生が遠かった。
初めて、大正合宿のリーダーをして、自分の甘
も少しはわかった。今後の山行に活かしたい。

下田) 今回はスリッパの合宿であったため、全体的
な1年生がつかぬ、1年生の緊張感が欠けてい
た。今後は1年生たちにも、とびきり指導
していきたい。

森) 緊張感が不足していた。山岳会について、度々
悪い面もわかって、これから山行はこれを
活かしていきたい。下級生にも、とうとうと、
こもよかた。

藤田) 今回、3年生をリーダーとして、3年生の自覚を
高め、指導が足りず、真にチームワークを
高め、真実から、思っている。

＝ 食事改善に関するアンケート ＝

Q1. あなたは 1日の内の何時の食事に改善が必要と思われるか。

- a) Essen 当分の殆んど眠りながら食する朝食
- b) 卵とミルクからつく、E 昼飯、上高地ビストロ
- c) 食いごとの待、2112 の夕飯

Q2. おぼり) マカポトにフイでお庫まします。

I. あなたは、次のどのマカポトが好きですか。

- a) お茶をかけたマカポト
- b) レーズを入れたマカポト
- c) カル-D味のマカポト
- d) 水の分量を調整したマカポト
- e) 栗田エウと一緒で食するマカポト

II. あなたが考えるマカポトのバリエーションを
お書き下さい。

例) スッポニマカポト

スッポニのエキスが入、2112、精がつく。
Eに 非常に値が下る。



S.A.C.®

二の文字が 目に入らぬか!!

1985 夏山合宿報告書

発行所 信州大学山岳会
松本市旭3-1-1

1985. 9